

アンケートのまとめ

問-1 海外報告(中国)について (播磨ブロック・南代議員)

(1) 率直な感想をお聞かせください

- 参考になりました。貴重な報告を聞かせて頂き、中国での状況、海外進出する企業の抱える問題点、国民性の違いなど、また今後考えて行くべき課題など、多くの事を感じました。今後も、この様な報告会等の場で生の情報を聞かせて頂けたらと思っております。
- かなりの衝撃がありました。あそこまで発展しているとは思っていませんでした。
- 中国人は、大口を叩いているが、それに見合う向上心と実力を兼ね備えているすごい人達だと改めて感じた。中国人の現在行っている事は、依然日本の後追いではあるが、日本がすごい高度成長を遂げてきたよりもさらに高度成長を遂げている中国が日本にとってものすごく脅威になる国であろうと感じた。
- 超高層ビル、町並みの変化スピード、貧富の差をバイタリティに替える前向きな姿勢が上海という街の勢いなのだと思います。日本人との意識の差も大きいと感じた。
- 高度成長期の日本みたいであり活気があるように感じた。市場が大きいだけに数年後は非常に脅威になると感じた。
- 私も中国に対して南さんと同様の印象を抱いていましたので、正直言って驚きました。また中国の底力を感じ、この国の将来がどのようになっていくか興味がわきました。日本は、アメリカ以上にもっと関係を深めていく必要があるなと感じました。また報告は、きれいな話だけではなく、裏話も含め興味を持って聞けました。
- 当然と言えば当然なのかもしれませんが、視察する目的を自分なりに持ち限られた時間の中でよく視察先の企業の状況を見てもらっていると感心しました。
- 現在、急速に発展している中国の一端を感じることができ良かった。
- 大変興味深いお話でした。「沙井三洋」の「沙井」を「神鋼」に、「三洋」をファウドラに変えたら当社と全く同じようなことをしていると思った。当社のこれからの方向性を考えさせられる話でした。
- 現在の中国上海の町並みあるいは日本企業の現状がよく解った報告だと思います。特にビデオを使った報告は、目に訴えてなかなかすばらしかった。
- 上海に旅行に行きたくなりました。
- 良いか悪いかは別にして労働条件など割り切って考えることも必要かと感じました。
- ビデオを使用するなど、大変わかりやすく、効果的なプレゼンだったと思います。この手の出張報告は、行った人の感動や、驚きがどこまで他の人に伝わるかという点にかかっていると思います。その点では大変良い報告であったと思います。
- 中国での体験談は非常に興味を持ってました。説明時には映像が有り、中国の南代議員のカルチャーショック?等もわかりやすかった。ただ、中国と日本の価値の差が曖昧で給料の1万5千円が中国で高給料が標準なのかは解りにくかった。現在、日本の企業が中国に合弁会社を設立し中国で生産する雰囲気(人件費が安い)が解った。
- パワーポイント・ビデオをうまく活用しており、非常にわかりやすく、理解出来る内容でした。
- 写真、映像を多用されていたことから言って

いる内容を容易にイメージすることができ、興味を持って話を聞くことが出来ました。

- せっかく工場勤務をされておられ、違う工場を見られたのだから中国の特徴、播磨工場が現地進出した際の障壁などのコメントがあっても良かったと思います。ご本人は色々思われたことがあったと思いますのでもう少し感じられたことを率直にお話された方が良かったと思います。行った本人しか感じないことがもっとあったと思いますし、そういう話をもっとお聞きしたかった。
- 今回は常議員の方が多数おられたにも関わらず質問の無さに驚きました。周りの人も関心を持って質問したりして、はじめてディスカッションが出来ると思います。常議員の方の関心が低いのに他の組合員が興味を持ってくれるとは思いません。
- 視察の目的が明確で有意義であり、また現地状況など詳しくわかりやすく説明がありとても楽しく興味をもって拝聴できました。
- 中国も発展してすごいと思った。
- 内容も良くまとめられており、見やすく聞きやすい発表だったと思います。

- テレビのドキュメント番組を見ているような感じを受けるくらい良くまとめられていました。
- 中国が昔の日本と同様に成長してきているのがよく分かったが、従業員を2～3年で交替していく中国企業の方法が「食いつぶし」のように感じた。

(2) 前回のアンケートでは「パンテックユニオンが行う海外視察」について、皆さんから賛否両論の意見を頂きました。今回の研修で関谷委員長から「海外視察の目的」について説明がありましたが、改めて「パンテックユニオンが行う海外視察」についてご意見をお聞かせください。

- 一般的に考えられる組合本来の活動としては合致しにくい点もあると思いますが、委員長の説明にもあった様に全く無駄な事では無いと感じています。本来会社がすべきことですが、組合としても人を育てて行くことを考えますと、多くの方に機会とチャンスを与えることができ、個人的には非常に良い活動のひとつであると考えています。本当に意義のある視察であれば、視察に行かれる方の



みでなく、事後に報告を聞く方にとっても、為になるものであるので、組合の考え（派遣する意義）を皆さんに十分に認識してもらうことが必要かと考えます。でない派遣される方も非常に行きにくいと思います。

- 得られた体験を組合員が共有できるようなシステム作りさえできていれば、海外視察を行う意味があると思います。
- パンテックユニオンが行う海外視察は、普通の観光では見られないもっとダークなところを見てくる方がいいと思う。香港など、貧富の差の激しいところを目の当たりにしたことを報告してほしかった。
- 観光目的であろうと海外へ行くのはよいチャンスだと思います。本人の意思の問題であり、報告を聞けばだいたい分かります。委員長が「意味がある」と判断すれば、積極的に参加すべきです。
- 海外視察は若手育成の中で、違うことを見て、感じる等の機会がない中で非常に良い取り組みであると思う。
- 委員長が言われたように、本来の主旨はどうか知らないが、行くことは見方、考え方に対する広がりも生まれるので、悪いことではないと思う。ただし業務の兼ね合いもあるため、無理矢理ではなく希望者をとってはどうかと思う。希望者を募り面接などで決めてはどうかと思う。
- パンテックユニオンが単独で企画し開催できれば別ですが、資金・企画（企業見学）面では難しいことは十分理解できるので内容を吟味した上で上部団体の企画に参加（活用）すればいいと思います。パンテックユニオンとして海外視察に参加する目的を明確にして参加すればそれで良いと思います。
- 参加される方にとっては貴重な体験になると思いますので良いと思います。しかし、その報告を会社全体に反映させるというのは難しいと思いますし、そこまで求めなくても良いのではないかと思います。（勿論、出来れば

一番良いですが。）可能であれば、参加者は組合員全員から希望者を募るのが良いと思いました。

- 報告発表のときは、その海外視察の「大義名分」をもう少し強調した方がよいと思います。
- 現在パンテックユニオン会員の平均年齢が年々若返っていることは皆承知の事と思いますが、若手の育成が急務であると感じている。海外視察もその側面を担っていると思うのでどんどん参加させるべきと思う。
- 裏事情をお聞きすると、参加も仕方がないかなと思いました。逆にいい機会だから、知見を広げるためにも行ったほうがいいのかとも感じました。
- 個人の見聞を広めるという点において意義があると思います。
- 他団体とのしがらみから参加せざるを得ない場合も、貴重な組合費を使うので、事前に何か一つでも目的を決めて、少しでも身のある出張にしてもらいたいです。
- 若い方が海外にいかれ、日本と違う雰囲気や今後の自分自身の生活に変えていったら行く価値があると思う。私自身の考え方として、中国の企業訪問もよいが、前回、今回の様に旅行記になっても、海外の方の生活に触れるのは日本の若い方には必要と思うので、私は良いと思う。
- 実情はどうであれ、海外へ行き、自分の目で日本との違いを見られることは自分にとってプラスになると思う。可能な範囲で続ける方が良いと思う。
- 例え目的が不明確であろうと、違う世界を見ることは良いと思っているので費用が許すのであれば継続されたほうが良いと思います。現地で戦争の碑を見て何か感じるだけでも物事に対する見方が少しは変わると思います。
- 外部および上部団体との連携にとらわれず、パンテックユニオン独自の見解で海外視察の参加可否を決めて頂ければと思います。なかなか事前に視察内容の有意義性を見極めるの

は難しいとは思いますが、モンゴル支援や今回の中国編のように良いと判断できるものにはどんどん参加すべきでしょう。

- 各部所とも人が減り1週間も会社を離れるのはどうかと思う。
- 仕事で海外へ行かれる機会がない方は、どんどん海外へ行って視野を広げられたらいい事だと思います。
- 形はどうであれ、視野・見聞を広げるという意味で良いと思う。

問-2 第7期運動方針(案)について(関谷委員長)

「具体的な活動の方針」の骨子について、項目を列記しますのでご意見、ご質問のある項目について記入下さい。

組織の充実・強化に向けた活動

ビジョンづくり委員会

- 自分の職場を活性化させていくために色々なことに取り組んでいきたい。
- いつ頃実施の予定ですか。ただ開催しても、提案が少ないと思う。事前アンケート等を検討し、いろんな意見が出るような工夫をお願いしたい。
- 組合の活動全てを把握したわけでもないし、将来の組合という題目は難しいものだと感じた。逆に上の世代の方達はどうっておられるのか？ またどう思っておられたのか？ということも聞きたいと感じた。
- これからまだまだ先が長い若手の意見をまとめて反映できるのは非常に良いと思います。
- 新しい事をやろうと思えば、非常にエネルギーを使うと思う。しかし若い人のエネルギーを有効に使えるように企画してほしい。
- どのような効果があるか、おおいに興味があります。
- 若手の組合員が将来に希望を持てる「ビジョ

ン」であればよいのですが、あまり暗い「ビジョン」しかなければ、逆効果では？

- 目標・テーマに向かってどう活動するか明確にした方が活動はしやすいと思う。どういう展開になるか楽しみ。
- メンバーに入っているので活性化させていきたい。
- 若い人を対象に行う事になっていますが、年輩の意見も参考にしてほしい。
- うまく若い人たちを盛り上げて会社再建できるよう取り組んでほしい。
- 本社・東京で分けて行うと言っていたが良いと思うが、職種別に分けてオープンハウス等も行ってみてはどうか。

オープンハウスを軸としたふれあいたいわ活動

- 企画運営は大変だとは思いますが同世代のつながりができ、事業部間の情報交流など良い機会だと思っています。是非継続し、より多くの人の参加を目指して頂きたいと思いません。
- 何度かありましたが、神鋼パンテツクの先輩社員の講演というのも刺激を受けることが出来て良いと思います。
- 仕事上ではあまり関わり合いのない同世代と話ができて、刺激があり良いと思います。
- 予算を見ながら継続してください。
- 自己啓発という意味で大変よいと思います。今後も継続して行って欲しいと思います。
- 定期的に東京開催を希望します。
- 各自、アンケートなどに色々意見を書いているのでそれをどうにかすることが出来たかフォローアップなど出来ないでしょうか？
- 個人がレベルアップするような内容の対話活動を行ってほしい！

ホームページとEメールの活用による双方向コミュニケーション

- 情報が速く伝わり、また、一方的でないため



良いと考えます。

- ホームページのアクセス数の発表等、メール等への効果はどうか教えて下さい。
- 良いと思う。ただし関心のない人は、より見なくなる傾向が強くなるのは否めないと思われる。
- 回覧の停滞が無くなり、ペーパーの削減にもなる。素早い情報発信で良くなったと思います。
- 事務局の手間、資源（紙）の面からもよいと思います。
- 双方向とのことですが、何か反応はあったのでしょうか？
- これは時代にマッチしたやり方と思う。タイムリーな情報交換が出来つつあると思います。
- 目標であるスピードアップ・ペーパーレスを目指しがんばってください。
- 運用開始後、どの程度の人が見ているか定期的に確認。見直しをする必要がある。作っておしまいでは意味がなくなる。メンテナンスが大切。
- 机の上に紙を1枚置かれるよりは今の方が良いと思います。カラーだし、編集されている方の熱意が伝わってくる。

- Eメールにより情報は早くなり良い事だと思いますが、組合員と常議員とのコミュニケーションの場が少なくなり、ますます組合離れになるように思われますが、どうでしょうか。

教育・研修活動の充実

- 常議委員会に+αのボリュームをつける程度で良いと思う。オープンハウスのように話の起爆剤となる人を呼んでいけばさらに盛り上がると思う。
- 教育、研修活動は必要かと思うが参加者が偏らないようお願いしたい。
- 大切な事だと思います。方針案通りで賛成です。
- やはり教育、研修は大事であると思うので色々やってほしい。海外視察も同じであると思うし、モンゴルの問題もそうだし色々教育の場はあると思います。
- ここ数年における、組合の常議員、代議員、青年部員に対する教育活動の充実ぶりには目を見張るものがあると思います。ユニオンが行おうとする方向、考えを会員に同等のレベルで理解させるため、また、各人のレベルアップのための教育、研修活動はよく企画され

ていると思います。

- 今回の常議員の規程集の勉強は非常に良かった。改めて知った事もあったし又、機会があったら行ってほしい！

青年層の育成と青年部活動の再構築

- 難しいとは思いますが播磨だけではなく本社、研究所の若手を対象にして行えばいいと思います。播磨だけでは化工機のみになってしまう。本社、研究所の若手との交流をはかる上でも実現して頂けたらと思います。
- ビジョン作りと合わせて取り組んでいきたい。
- 青年部の活動を再開して若い人の団結を図るように進めては？
- 播磨製作所の青年部活動を「自らの企画で出来るようサポートしていく」としているが、具体的なサポートの仕方が決まり次第、早急に教えてほしい。

モンゴルとの交流について

- モンゴル交流の意義をもっと詳しく聞きたかった。
- 方法は色々あるかと思いますが継続し定期的に続けてほしい。
- ボランティアとして支援していくので有れば確実な方法で継続できる形で実施を希望しま

す。その中で海外視察として派遣するのもパンテックユニオンの考えにあうのではないだろうか。

- 「古着を送るということに対して、送り側と受け取り側の2つの国でビジネスが絡んでいるのでは」というお話に、自己満足に終わらないボランティアというものについて改めて考えさせられました。
- 「ながく続けられるかたち」に賛成です。
- 委員長がお話された通り、内容見直しは必要だと思います。
- 現地訪問も含めて、何らかの形で継続して欲しい。
- 営利企業である会社は地域への貢献と同時に社会奉仕活動などもする義務があるので続けるべきだと思います。
- モンゴルとの交流もいいと思うが、現在日本はお年寄りが多く老人ホーム等のボランティアを行ってはどうかと思いました。
- 一度やり始めたら、何年も続けて行ってください。
- 最近、盛り上がりかけるような気がします。

